

6. 歴史文化を活かしたまちづくりに向けて

池田市歴史文化基本構想では、各種調査・分析で明らかとなった池田市の歴史文化の特性に基づき、関連文化財群を設定し、それらを踏まえて、池田市の歴史文化を活かしたまちづくりに向けた基本方針と取り組みの方向性、ならびに「池田・在郷町と郊外住宅地が融合する歴史文化保存活用区域」とこれに連携したサブ拠点区域を設定したうえで、保存活用計画についてとりまとめた。

今後は、本構想・計画に基づく取り組みを推進することが求められるが、実効性の高い取り組みを推進するために、以下の諸点を今後の継続的な検討事項としてとりまとめることができる。

(1) 継続的な調査の実施と新たな歴史文化遺産の発掘

本構想・計画の策定にあたっては、文化財の総合把握として、様々な分野からの調査を実施してきた。しかし一方で、価値ある民家などの建築物、植木やみかん栽培などの生業、民俗や伝説等、池田市の歴史文化を語る上で十分な調査が行われていない分野もあることから、今後も継続的な調査を実施し、池田の歴史文化を代表する新たな歴史文化遺産の発掘の取り組みを進める。

(2) 隣接市等との連携

本構想・計画で抽出・設定した関連文化財群を構成する文化財は、池田市に分布する歴史文化遺産を対象としている。しかし、交流により繁栄をもたらされた池田市の特性に鑑みると、関連文化財群を構成する歴史文化遺産は池田市域のみに分布するものとは限らない。このため、歴史文化保存活用計画でも示したように、歴史文化遺産の積極的な保存・活用にあたっては、隣接市等との連携を図りながら継続的に進める。

(3) 構想の更新

本構想・計画は歴史文化遺産を総合的に保全・活用するためのマスタープランと位置づけられる計画である。また、継続的な調査の結果、新たな歴史文化遺産の発掘などにより、池田市の歴史文化を語る上での新たなテーマを構築することも可能になる。このため、調査の進捗や社会環境の変化などを踏まえながら、ほかのマスタープランの策定期間などに鑑み、適宜、構想の更新を行うことを検討する。

(4) 景観・都市計画・観光分野の計画との連動

本構想は歴史文化を対象とした計画であるが、歴史文化遺産をまちづくりに活用するためには、景観分野や都市計画分野、観光分野の計画や取り組みと連動することが効果的である。

池田市では五月山景観保全条例を設け、また、まちなみ保存整備事業などが進められているが、景観計画は未策定であるため、景観計画の策定によって、歴史文化遺産と周辺を一体的に保全・活用する取り組みとの連動が効果的である。また、歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致維持向上計画」の策定は本構想と連動して策定する計画として位置づけられているため、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを実行していくためにも、同計画の策定に向けた取り組みを継続的に進めていくことを検討する。

(5) 歴史文化に関する市民の理解と協力を求める取り組みの継続的な推進

教育・文化・健康都市としての歩みを進めてきた池田市は、古くから池田市に居住する市民に加え、市外から移転してきた新市民も多くみられる。こうした点から、郷土意識の醸成のため、市民に池田市

の成り立ちの基盤ともなっている歴史文化に関する理解と協力を求める講演会やまち歩き、広報による紹介など、継続的な取り組みを推進する。

(6) 推進体制の継続

本構想・計画に基づく取り組みにあたっては、長期的な視点にたった推進体制を継続しなければならない。とくにそのノウハウの蓄積や、様々な分野との連携においては、長期間の安定した人材確保が必要不可欠であり、今後も、歴史文化を活かしたまちづくりを十分に推進できる体制の継続に努める。

